

日本海藻協会ニュース

2008年7月15日

I. 協会事務局から

1. 「海藻資源」No.18

本協会会誌「海藻資源」No.18 (6月発行予定)の発行が遅れており、申しわけありません。8月初めには発送できる予定ですので、しばらくお待ち下さい。

2. 会員親睦交流会

今年度の親睦交流会を8月1日(金)・2日(土)に三重県鳥羽市で開催します。会員各社とも複数の方々のご参加をお願いします。参加者の氏名を事務局までお知らせ下さい。スケジュール等は次の通りです。(詳細は追ってお知らせします。)

8月1日(金): 13:00までに「鳥羽 海の博物館」(鳥羽市浦村町大吉1731-68)前に集合。同博物館の特別展「海からの恵みー広がる未来への夢ー」その他を見学。18:00からホテルで夕食・懇親会。

8月2日(土): 朝食後解散。希望者は鳥羽水族館・三重大学生物資源部の海藻関係研究室見学。

参加申込期限: 7月17日(木)

3. 総会開催のお知らせ

今年度の総会を10月10日(金)13:00から学士会館(東京、神田)で開催します。同日14:00から開催される「秋季藻類シンポジウム」と同じ会場です。会員各社のご出席をお願いします。なお、シンポジウムの話題並びに話題提供者についてご希望・ご推薦を事務局宛にお知らせ下さい。

3. 会費納入のお願い

2008年度の会費を未納の会員(7月10日現在6社)は至急納入下さい。

II. 海藻関連ニュース

1. 第8回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議

第8回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議 (The 8th Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference (APMBC)) が2008年11月12日-15日に韓国・釜山の BEXCO で開催されます。

2. 第10回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー

(社)大日本水産会主催の第10回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー (10th Japan International Seafood & Technology) が7月23日(水)-25日(金)に東京国際展示場“ビッグサイト”で開催されます。

3. 第5回アジア太平洋藻類学フォーラム案内

第5回アジア太平洋藻類学フォーラム (Vth Asian Pacific Phycological Forum, Vth APPF) が2008年11月10-14日にニュージーランドのウェリントンで開かれます。会場はウェリントン駅に近接するウェリントン・ビクトリア大学のラザフォード・ハウス (Rutherford House, Pipitea Campus, Victoria University of Wellington, Bunny Street, Wellington) です。詳細は <http://www.appf2008.com> をご覧下さい。

プログラム概要

11月10日(月) 受付(1pm~)、歓迎レセプション(5pm~)

11月11日(火) 受付(8am~)、開会式(9am)、ミニシンポジウム、
口頭発表、ポスター

11月12日(水) 全体講演、ミニシンポジウム、学生発表、口頭発表、
バンケット

11月13日(木) 全体講演、ミニシンポジウム、学生発表、ポスター

11月14日(金) 全体講演、口頭発表、閉会式(1pm)

ミニシンポジウム予定：「藻類と気候変動-インパクトと修復」「応用藻類学-養殖と利用」「藻類系統学」「侵入藻類」「生物活性物質」「極地藻類」「淡水藻」「大型藻の生態」「シアノバクテリア」など

ワークショップ予定：「藻株培養保存」「東南アジアにおける海産藻類分類学のためのコンソーシアム」「ウシケノリ目のグループ集会」「藻類を活用したCO₂貯留に関するアジアネットワークの作業グループ集会」

参加登録

割引付早期参加登録及び発表要旨(Abstract)の受付期限はともに **6月30日**で、すでに締め切られましたが、参加登録はまだ受け付けています。

フル参加 NZ\$ 450 (全学術集会に出席可、11, 12, 13日のランチ、
歓迎レセプション、閉会式、コーヒブレークの経費を含む)

学生・退職者・無職 NZ\$ 250

1日登録 NZ\$ 250

11月12日に予定されているバンケット(フォーラム・ディナー)代は NZ\$ 100 です。

上記料金は全てニュージーランドドル(NZ\$)で振込んでください(12.5%の税が含まれています)。4月22日現在NZ\$ 1.00 = ¥ 81.75。なお、appfinquiries@niwa.co.nz に申し込めば最新情報が送られてきます。

ホテルはフォーラム事務局(Holliday Inn Wellington, Hotel Ibis, Central City Hotelを確保)を通すか、あるいは現地旅行案内を通して直接予約して下さい。宿泊料金その他の詳細は <http://www.appf2008.com> をご覧下さい。

4. 特別展「海からの恵み海藻ー広がる未来への夢ー」

これまで企画展示「海藻と日本人」としてお知らせしましたが、海の博物館(三重県鳥羽市)の特別展が正式には「海からの恵み海藻ー広がる未来への夢ー」と題して2008年7月12日~9月23日に実施されます。

問合先：〒517-0025 鳥羽市浦村町大吉 1731-68 海の博物館

Tel 0599-32-6006(代) Fax 0599-32-5581 平賀大蔵

5. 「大森 海苔のふるさと館」

場 所： 東京都大田区平和の森公園 2 番 2 号

開館時間： 午前 9 時~午後 5 時 (6 月~8 月は午後 7 時まで)

休 館 日： 第 3 月曜日 年末年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)

III. カレンダー

2008.7.12. - 9.23. 特別展「海からの恵み海藻ー広がる未来への夢ー」(鳥羽海の博物館)

2008.7.23. - 25. 第 10 回ジャパン・インターナショナル・シーフードショウ(東京国際展示場 “ビッグサイト”)

2008.8.1. - 2. 日本海藻協会会員親睦交流会

2008.10.10. 日本海藻協会総会、秋季藻類シンポジウム(東京 学士会館)
[→No.1]

2008.11.10 - 14. 第 5 回アジア太平洋藻類学フォーラム(ニュージーランド・ウェリントン)

2008.11.12 - 15. 第 8 回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議(韓国・釜山)

IV. 海藻 Q & A

Q6ーテングサという種名の海藻はないのですか？

Aー「テングサ」という種名の海藻はありません。寒天をとるための原藻となる海藻を総称して「てんぐさ」といいます。日本産の海藻で寒天原藻とされているのは、マクサ、オオブサ、キヌクサ、ヒラクサ、オニクサ、オバクサ、ユイキリ、エゴノリ、オゴノリ、イギスなどです。主にテングサ属(*Gelidium*)、オバクサ属(*Pterocladia*)、ユイキリ属(*Acanthopeltis*)などテングサ科に属する海藻です。現在、日本では海外からオゴノリ属(*Gracilaria*)の海藻をはじめ多種の紅藻が寒天原藻として輸入されています。

V. 会員会社の新製品等の紹介

1. 新刊図書案内

藤田大介・町口裕二・桑原久実（編著）磯焼けを起こすウニー生態・利用から藻場回復までー。成山堂。A5判・328頁・定価4,620円(税込)（送料費390円）。

大隅清治（著）クジラを追って半世紀ー新捕鯨時代への提言ー。成山堂。四六判・244頁・定価1,680円(税込)（送料費390円）。

2. 伊那食品工業㈱のR&Dセンター（新研究棟）完成

今年で創立50周年を迎えた伊那食品工業㈱は、これまでも研究開発型企業として進んで来ましたが、これからの50年を見据え、このたびR&Dセンター(新研究棟)を建設しました。総工費は約10億円、延べ床面積は3,900㎡です。5階建てのうち2ー5階を研究開発で既に使用し始めました。1階部分は寒天やメタボ等健康について学べる・体験できる健康パビリオンとして一般市民に開放される予定です。



会員各社は新製品等の情報や資料があったら、事務局宛にお知らせ下さい。

☆☆
この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月
1回（毎月15日付で）発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F
マリン・サイエンス株式会社 内

日 本 海 藻 協 会 事 務 局

編集者： 有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)

☆☆